

日野町財政事情公告

日野町財政事情の作成及び公表に関する条例（昭和 30 年日野町条例第 31 号）第 2 条および地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定により、平成 27 年 3 月 31 日現在の公営企業の業務状況をここに公表する。

平成 27 年 6 月 1 日

日野町長 藤 澤 直 広

財 政 事 情

(水道事業会計)

平成27年6月
日 野 町

平成26年度下半期(10月～3月)水道事業報告書

1. 概況

(1) 受水状況

当町の水道事業は、県が運営する湖南水道用水供給事業により、水道水を賄っています。

平成26年度下半期の受水状況は右表のとおりであり、1日平均受水量は6,647.9m³で、昨年同期と比べて日量666.7m³(9.1%)の減となりました。

湖南水道用水供給事業からの受水状況

	平成26年度	平成25年度	比較増減
10月	214,265	240,913	△ 26,648
11月	198,369	218,567	△ 20,198
12月	203,979	224,639	△ 20,660
1月	201,800	225,294	△ 23,494
2月	187,698	206,745	△ 19,047
3月	203,809	215,101	△ 11,292
計	1,209,920	1,331,259	△ 121,339
日数	182	182	0
日量	6,647.9	7,314.6	△ 666.7

(単位:m³)

(2) 有収水量

平成26年度下半期の給水状況は、給水人口 20,947人(H27.3.31現在)前年度より78人減少し、1日平均有収水量6,004.9m³となり、昨年同期と比べて日量103.8m³の減となっています。

(1日1人当たりの有収水量は287ℓ)

平成26年度末における使用給水栓数は、昨年より52栓減少し7,518栓となっています。また、平成26年度の新規接続数は67件でした。

調定有収水量の比較増減

	平成26年度	平成25年度	比較増減
10月	167,305	178,872	△ 11,567
11月	204,507	185,361	19,146
12月	161,299	159,429	1,870
1月	210,187	201,975	8,212
2月	157,383	176,189	△ 18,806
3月	192,213	209,961	△ 17,748
計	1,092,894	1,111,787	△ 18,893
日数	182	182	0
日量	6,004.9	6,108.7	△ 103.8

(単位:m³)

(3) 建設改良事業の状況

平成26年度の建設改良事業は、三団地水道整備に伴う配水管布設工事の最終となる五月台6工区の本設工事、青葉台、曙団地および五月台の一部について舗装復旧工事を行いました。また、5年計画で実施予定の主要幹線配水管(第1工区)の布設替工事を実施しました。

(4) 経理の状況

ア、予算の補正の状況

収益的収支については、収益の部で受託給水工事収益の減額と長期前受金戻入の増額補正を行い、費用の部で受託工事費等の減額、路面復旧費、資産減耗費、消費税等を増額補正しています。

資本的収支については、建設改良事業の精査により、収益の部で国庫補助金の減額と一般会計出資金の増額補正を行い、費用の部で委託料と工事請負費を減額補正しました。

イ、予算の執行状況

平成26年度の予算執行状況は、次のとおりです。予算執行状況(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

● 収益的収支

(単位:円)

科目	当初予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	補正予算額	予算現額 A	執行額 B	B/A %
水道事業収益	665,126,000	0	△ 694,000	664,432,000	657,437,176	98.9
営業収益	585,985,000	0	△ 733,000	585,252,000	575,772,127	98.4
営業外収益	79,141,000	0	39,000	79,180,000	81,665,048	103.1
特別利益	0	0	0	0	1	0.0
水道事業費用	609,624,000	0	3,706,000	613,330,000	595,896,455	97.2
営業費用	572,656,000	0	1,887,000	574,543,000	559,139,100	97.3
営業外費用	33,990,000	0	1,653,000	35,643,000	34,614,343	97.1
特別損失	1,978,000	0	166,000	2,144,000	2,143,012	100.0
予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0.0

※ 予算額および執行額は、消費税額を含んでいます。

業務状況報告書

●資本的収支

(単位:円)

科目	当初予算額	繰越額による財源 充当額及び繰越額	補正予算額	予算現額 A	執行額 B	B/A %
資本的収入	78,152,000	0	△ 67,000	78,085,000	74,391,138	95.3
国庫補助金	20,000,000	0	△ 6,667,000	13,333,000	11,880,000	89.1
県補助金	0	0	0	0	0	-
出資金	5,652,000	0	6,600,000	12,252,000	11,552,000	94.3
企業債	17,000,000	0	0	17,000,000	13,900,000	81.8
工事負担金	35,500,000	0	0	35,500,000	37,059,138	104.4
資本的支出	211,049,000	0	△ 37,000,000	174,049,000	144,730,027	83.2
建設改良費	157,593,000	0	△ 37,000,000	120,593,000	91,274,277	75.7
企業債償還金	53,456,000	0	0	53,456,000	53,455,750	100.0

(注)資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

※ 予算額および執行額は、消費税額を含んでいます。

ウ、決算の状況

① 損益収支

営業収益については、近年の節水機器の普及や節水意識の向上等により水需要が低下傾向にあることから、水道事業収益の大部分を占める給水収益が、前年度と比較して19,621,187円減となりました。営業外収益については、新会計基準の適用により、みなし償却制度が廃止されたことで、補助金・負担金等の減価償却見合い分76,691,019円が新たに長期前受金として増加しています。

費用では、営業費用で受託工事費と固定資産の除却費が増となりました。

平成26年度から新会計基準が適用されたことにより、昨年度の決算と比較すると大きな相違が発生しています。収益総額は10.4%、費用総額は8.4%の増となり、平成26年度の純利益は57,489,473円となりました。

●比較損益計算書

(単位:円)

科目	平成26年度 決算額(A)	平成25年度 決算額(B)	比較増減	
			(A) - (B)	(A)/(B)%
水道事業収益	617,601,014	559,263,276	58,337,738	110.4
営業収益	535,921,165	554,861,391	△ 18,940,226	96.6
営業外収益	81,679,848	4,401,885	77,277,963	1,855.6
特別利益	1	0	1	皆増
水道事業費用	560,111,541	516,591,866	43,519,675	108.4
営業費用	533,679,547	495,105,461	38,574,086	107.8
営業外費用	24,288,982	21,486,405	2,802,577	113.0
特別損失	2,143,012	0	2,143,012	皆増
当年度純利益(損失)	57,489,473	42,671,410	14,818,063	134.7

※損益計算書は消費税抜きの額です。

② 財務状況

平成26年度末の総資産は、前年度より196,646,086円減少し、4,168,171,692円となりました。これに対し負債は2,157,839,364円増加し、2,331,444,768円に、資本は2,354,485,450円減少し1,836,726,924円となりました。

新会計基準の適用により、資産、負債、資本の額が大きく変動しています。みなし償却制度の廃止に伴って剰余金が減となり繰延収益が増加したこと、借入資本金制度の廃止に伴って企業債の仕訳が資本から負債に移ったことが増減理由の主なものとなっています。

●比較貸借対照表

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科目	平成26年度 決算額	平成25年度 決算額	比較増減	科目	平成26年度 決算額	平成25年度 決算額	比較増減
固定資産	3,152,505,405	3,448,247,375	△ 295,741,970	固定負債	916,851,184	68,000,000	848,851,184
流動資産	1,015,666,287	916,570,403	99,095,884	流動負債	154,800,951	105,605,404	49,195,547
				繰延収益	1,259,792,633	-	1,259,792,633
				負債合計	2,331,444,768	173,605,404	2,157,839,364
				資本金	535,840,285	1,458,647,264	△ 922,806,979
				剰余金	1,300,886,639	2,732,565,110	△ 1,431,678,471
				資本合計	1,836,726,924	4,191,212,374	△ 2,354,485,450
合 計	4,168,171,692	4,364,817,778	△ 196,646,086	負債資本合計	4,168,171,692	4,364,817,778	△ 196,646,086

※貸借対照表は消費税抜きの額です。

③ 企業債の状況

平成27年3月31日現在の企業債の現在高は894,803,229円です。

エ、平成27年度の事業および予算の概要

清浄な水道水の供給によって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与するため、本年度は、1日平均6,920m³の水道水の供給を予定しています。水道水の安定供給を図ることを目的に、住民生活に欠くことのできないライフラインの維持管理を行うとともに、引き続き健全な水道経営を目指すと共に企業努力に努めてまいります。

また、以前より土質の関係等で漏水が多発していた北山の主要幹線配水管について、平成26年度からの5年計画で耐震化も含めた布設替工事を進めているところです。

平成27年度当初予算の概要

● 収益的収入および支出

(単位:千円)

款	項	金額	備考
水道事業収益		651,972	
	営業収益	571,857	
	営業外収益	80,115	
	特別収益	0	
水道事業費用		588,094	
	営業費用	557,370	
	営業外費用	29,724	
	特別損失	0	
	予備費	1,000	

※ 予算額は、消費税額を含んでいます。

● 資本的収入および支出

(単位:千円)

款	項	金額	備考
資本的収入		51,648	
	国庫補助金	15,000	
	出資金	9,648	
	企業債	0	
	工事負担金	27,000	
資本的支出		139,727	
	建設改良費	93,774	
	企業債償還金	45,953	

(注)資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

※ 予算額は、消費税額を含んでいます。